# 令和２年度　第１回恵庭市文化財保護委員会

日　時　令和2年7月28日（火）

## ●会　議　次　第

１．開　会

２．議　題

（１）令和２年度主な事業計画について

３．その他

４.閉　会

# 令和２年度

# 第１回恵庭市文化財保護委員会

# 会　議　資　料

教育部郷土資料館

令和2年7月28日
文化財保護委員会
教育部郷土資料館

# 令和2年度郷土資料館事業計画（案）

| 事業名 | | | 期日 | 対象 | 趣旨 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 展示事業 | 常設展示 | | 通年 | 一般 | 郷土の自然・歴史・文化の展示解説<br>戦争資料展　他 | |
| | カリンバ遺跡展（常設） | | 通年 | 一般 | 平成11年度、調査されたカリンバ遺跡出土品、土坑墓レプリカを漆製品（複製）、玉等を中心に展示 | |
| | 令和元年度発掘調査等成果展 | | 12月 ～1月 | 一般 | 令和元年度中に試掘調査等を実施したユカンボシE1遺跡等から発見された資料を紹介 | |
| | 企画展「西島松５遺跡―1,300年前、恵庭は北海道の拠点だった―」 | | 7月11日～8月30日 | 一般 | 西島松５遺跡の遺物が今年度北海道から恵庭に譲与されました。そのうち7～9世紀の土坑墓から出土した金属製品や土器等の展示を行います | |
| | 特別公開2020国指定重要文化財<br>カリンバ遺跡出土品展及び市内遺跡ミニ展示 | | 中止 | 一般 | 埋蔵文化財整理室において普段は展示していない重文の漆製品（実物）を特別公開 。展示室が換気しづらい部屋であり、新型コロナ感染拡大防止の為、今年度は中止。 | |
| | 市制施行50周年記念事業<br>「市になったころの恵庭展」 | | 10月～11月 | 一般 | 市制施行された昭和45年頃の恵庭の様子を生活用具、写真、８ミリフィルムによる映像で紹介 | |
| | 令和2年新収蔵資料展 | | 2月 | 一般 | 令和2年中に寄贈を受けた資料を紹介 | |
| | 「収蔵資料展」 | | 随時 | 一般 | 収蔵資料の中からテーマを決めて展示 | |
| 教育普及事業 | 見学会・講座 | ・ふるさと散歩見学会 | 中止 | 一般 | ボランティア共催事業。市内の歴史的スポットを見学 | |
| | | ・古文書解読講座 | 中止 | 一般 | 道立文書館共催事業。古文書解読の基礎講習 | |
| | | ・カリンバ講演会<br>・カリンバまつり<br>・カリンバ土曜講座<br>・遺跡見学会 | 12/5<br>10/10<br>1月～3月<br>9月12日 | 一般<br>一般<br>一般<br>一般 | 演題：北方領土の遺跡　講師：北海道博物館学芸員<br>石器作り、勾玉作り<br>道央部の発掘調査　3回<br>北大構内の遺跡や博物館等を見学 | |
| | 観察会 | ・星空観察会 | 中止 | 一般市民 | 望遠鏡を使って惑星、星座の観察を行う（計6回実施予定） | |
| | | ・漁川の生きもの観察会 | 中止 | 小中学生 | さけます・内水面水産試験場共催事業。<br>市内の川に生息する魚類・水生昆虫の観察 | |
| | 体験学習会 | ・化石レプリカづくり | 中止 | 小中学生 | ボランティア共催事業 | |
| | | ・ガリ版印刷体験 | 中止 | 小中学生 | | |
| | | ・小麦粉せんべい焼き | 中止 | 小中学生 | | |
| | | ・むかしの道具体験コーナー | 中止 | 小中学生 | 昔の生活用具や玩具など自由に体験できるスペースを設置する。 | |
| | レファレンス | レファレンスの実施 | 随時 | 一般 | 郷土の自然・歴史・文化にかかる市内外からの問い合わせに対して、調査し回答を行う。 | |
| | 資料活用 | ふるさと教育宅配事業 | 中止 | 市内小学校 | ふるさと教育の一環として、収蔵資料の内、貸出し対象資料となっている資料を各小学校に巡回させながら配送し、利活用の拡充を図る。 | |

令和２年７月28日
文化財保護委員会
教育部郷土資料館

# 令和２年度　史跡カリンバ遺跡整備事業について

**１．史跡等水文環境調査委託業務**

（１）内容　史跡に漆製品が良好な状態で残るのは、史跡内の水文環境が大きく影響しており、地下水や湧水を良好な状態で維持することが漆製品の保存の為に不可欠です。またこの場所に遺跡がつくられたのは旧カリンバ川があったからであり、川が枯渇しないように現状の流れを維持することは、縄文景観の復元と史跡整備に欠かせない要素です。そこで平成２９年に設置したボーリング孔と三角堰において水位や水量などの観測を開始しました。水文調査は今年度も継続して行ないます。

（２）現況　入札の結果、５月１４日に応用地質（株）と 869,000 円（1/2 は国の補助金）で契約を結びました。現在は資料館側が月末に１回水文データ採取を行っています。

**２．史跡危険木伐採委託業務**

（１）内容　史跡内にあり既に傾く、枯れているなど近い将来倒壊し、遺跡に損傷を与える恐れがある立木 13 本を事前に伐採します。

（２）現況　入札の結果、５月１２日に（株）北集園と 790,900 円（1/2 は国の補助金）で契約を結びました。伐採は７月１３日から１５日に実施する予定です。

**３．史跡整備検討委員会**

平成２７年度に史跡整備基本計画を策定し、近年は水文環境調査や現況図作成など各種調査を進めています。今年度は夏頃に市長部局と史跡整備の方向性について検討する予定で、２月上旬に文化庁調査官を招いて史跡整備検討委員会を開催する予定です。

**４．史跡環境整備**

（１） ゴミ拾い・花植え

５月３０日（土）に地元住民やカリンバの会と共同で開催予定でしたが、新型コロナの影響で中止としました。花壇３か所の花植えは５月２８日に資料館職員で行いました。

（２） 草刈り

年２回行っていますが、今年度から予算の関係で２回目は１回目の半分の面積にすることとしました。入札の結果、牧場造園が 1,080,970 円で落札し、１回目は６月１０日から１７日に実施しました。２回目は８月下旬を予定しています。

# 令和２年度　西島松５遺跡の資料整理について

**１．内容**

令和元年３月に（公財）北海道埋蔵文化財センターが発掘調査し、道が保管する西島松５遺跡の土器や石器のコンテナ等の半分（約 1,000 箱）が、また２年５月には金属製品の残り全てが道から恵庭市に運ばれ、７月には道から恵庭に譲与通知書が提出される予定です。このうち７～９世紀の擦文早期・前期の土坑墓出土金属製品や土器等約 400 点がとりわけ価値の高い遺物であることから、令和２年度から文化庁調査官を招聘し、遺物の整理（抽出、台帳作成、磨き上げ等）を行います。まず、７月２８・２９日に文化庁調査官が来恵し、資料を実見する予定です。

**２．その他**

（１）７月１１日から８月３０日にかけて郷土資料館特別展示室で企画展「西島松５遺跡―1,300 年前、恵庭は北海道の拠点だった―」を開催します。

（２）西島松５遺跡出土刀のうち、早い時期に恵庭市に移管されていた刀３点について破損が見られることから、三菱財団５０周年記念特別助成「第２回（2020 年度）三菱財団文化財修復事業助成」に応募しました。結果、西島松５遺跡出土刀の高い価値が認められ、令和２年６月２３日に 314 万円の助成（100%）が決定し、刀３点について三菱財団の資金で修復できることとなりました。

# 令和２年度　アイヌ政策推進交付金事業について

**１．内容**

事業期間は令和２～４年度で、今年度は「アイヌ文化マスター育成事業」を実施します。事業は公募で選出した市内在住の中高生６名がアイヌ語や白老、平取などのアイヌ文化を学びます。その集大成として多文化共生、先住民尊重の先進地であるニュージーランドへ行き、現地でマオリ族との交流を行い、本市の多文化共生社会の実現へとつなげます。

**２．現況**

４月に 4,547 千円の国庫補助（8/10）が決定し、総事業費は自己負担と青少年・文化振興基金を合わせ 5,925 千円です。しかし、新型コロナウイルスの影響で学校が休校になるなど、事業を開始できない状況でした。６月末まで様子を見ましたが、今年度の事業の実施は難しいと判断し全て取り止める方向で国等と調整中です。国からは事業期間を先送りする場合、事業計画を令和３～５年度にすることを求められています。

# 令和２年度　市内遺跡金属製品保存処理について

**１．内容**

市内遺跡のアイヌ墓等から出土した刀類や鉄鍋等７点について再保存処理を行う。

**２．現況**

４月１６日に（公財）元興寺文化財研究所と 2,926,000 円（1/2 は国の補助金、1/4 は道の補助金）で契約を結びました。現在、奈良市で保存処理中です。

**３．その他**

市単独費分（契約額の 1/4）について、（公財）文化財保護・芸術研究助成財団「令和２年度文化財保存修復助成事業」の助成 30 万円が内定しました。

令和２年７月28日
文化財保護委員会
教育部郷土資料館

# 令和２年度　埋蔵文化財の保護について（６月末現在）

## １．発掘調査

（１）ユカンボシＥ13 遺跡
調査原因：個人住宅建築に伴う行政目的記録保存調査
調 査 地：和光町４丁目 1530
調査面積：約 223.4 ㎡　調査期間：５月 14 日～７月 22 日（予定）
遺構：竪穴住居跡１基、土坑６基、焼土５基
遺物：縄文時代中期～後期の土器・石器が主体を占める
（コンテナ 60×40×20 ㎝：６箱）

## ２．試掘調査

（１）ユカンボシＥ1 遺跡
調査原因：個人住宅建築に伴う試掘確認調査
調 査 地：恵南 6-67
調査面積：約 474.6 ㎡　調査期間：４月 20 日
遺構：なし
遺物：縄文時代中期土器 12 点、剥片類２点、礫１点
調査結果：要発掘調査等

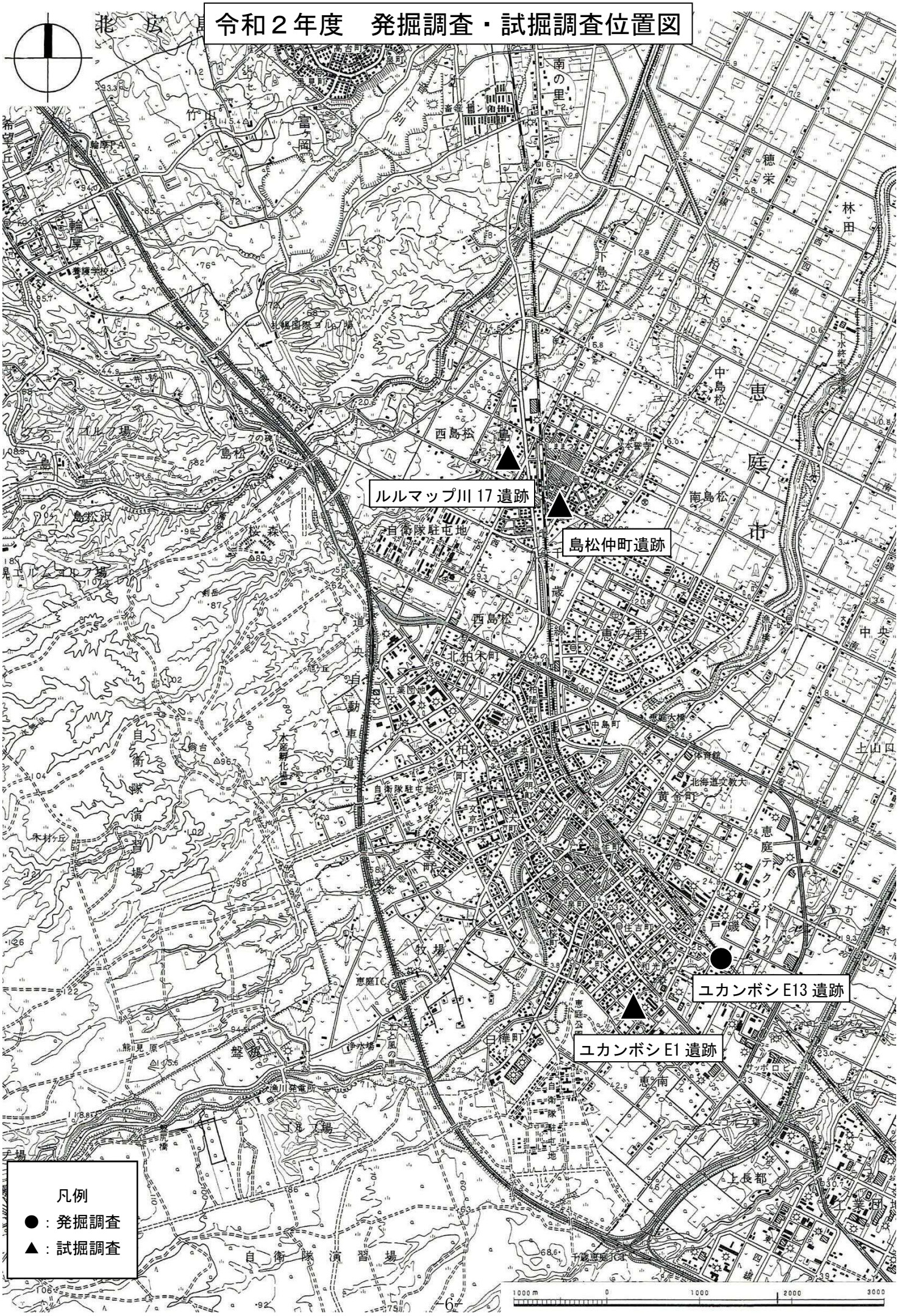
（２）島松仲町遺跡
調査原因：個人住宅建築に伴う試掘確認調査
調 査 地：島松仲町３丁目 372-4
調査面積：約 340.8 ㎡　　調査期間：４月 21 日
遺構：なし
遺物：縄文時代中期土器７点、続縄文時代初頭の土器２点、剥片１点
調査結果：要工事立会等

（３）ルルマップ川 17 遺跡（新規登載）
調査原因：宅地造成に伴う試掘確認調査
調 査 地：西島松 121-9 外
調査面積：約 22,108 ㎡　調査期間：６月２２・２３日
遺構：なし
遺物：縄文時代早期中葉～中期前葉の土器・石器等 281 点（前期前半が主体）
調査結果：要発掘調査等

## ３．埋蔵文化財保護のための事前協議

８件

## ４．埋蔵文化財包蔵地の照会

14 件

# 令和２年度　発掘調査・試掘調査位置図